



- *洞爺湖温泉
- *財田湖畔
- *壮瞥温泉
- *浮見堂
- *滝之上キャンプ場
- *月浦展望台
- *仲洞爺キャンプ場
- *中島

是非、洞爺湖八景に足をお運びいただき、洞爺湖地域の素晴らしい景観をお楽しみください。



■JR・バス

新千歳駅

札幌駅

洞爺駅

洞爺湖温泉
JR室蘭本線（特急約1時間40分）

約5分バス約18分

徒歩2分

洞爺湖温泉
バスターミナル

■自動車

札幌駅

洞爺湖温泉
バスターミナル

高速バス：洞爺湖温泉バスターミナル約2時間40分

徒歩2分

洞爺湖温泉
バスターミナル

札幌

定山溪～中山峠～ルスツ高原経由 約103km約2時間

新千歳空港

支笏湖～美音峠経由（約90km約1時間40分）

高速：千歳IC～虹田洞爺湖IC（約110km約1時間20分）

エコ・ギャラリー

**洞館湖
ビジターセンター
&
火山科学館**

釧路自然環境事務所
〒085-8639 釧路市幸町10丁目3番地 釧路地方合同庁舎4階
TEL (0154) 32-7500・FAX (0154) 32-7575
<http://hokkaido.env.go.jp/kushiro/>



この印刷物は地球にやさしい再生紙と、
植物性大豆油インキを使用しています。

エコ・ギャラリー オープン

環^わの道^{みち}

サニット直前号

2008.6



北海道地方環境事務所

「エコ・ギャラリー」がオープンしました!!

北海道地方環境事務所では、G8北海道洞爺湖サミット開催を契機として、今後増加が見込まれる洞爺湖地域への国内外来訪者に広く環境問題を普及啓発することを目的として、サミット開催期間を含む6月1日から8月31日までの3ヶ月間、支笏洞爺国立公園の洞爺湖ビジターセンター敷地内において、仮設の大型環境学習展示施設「エコ・ギャラリー」を開設することとしました。

オープン式典

オープン初日の6月1日(日)には、午前11時から桜井郁三環境副大臣や、2008年ミス日本ネイチャー岡田亜沙美さんなど関係者の出席のもと、「エコ・ギャラリー」オープニング式典を執り行いました。



桜井郁三環境副大臣

環境副大臣の「環境について考え、学んで、行動するきっかけとなる施設にしたい」との式辞に続き、北海道環境生活部長及び地元西胆振4市町を代表して山中漢壮警町長から祝辞を賜り、浅野能昭北海道地方環境事務所長から施設の概要紹介が行われました。

その後、関係者によるテープカットが行われ、鈴木祥之洞爺湖自然保護官による案内のもと、「エコ・ギャラリー」が披露目されました。



▲テープカット

オープン記念イベント

ミス日本ネイチャーによる「環境紙芝居」

ミス日本ネイチャーの岡田亜沙美さんによる環境紙芝居を上演。日本の自然や地球温暖化の話をつかりやすく説明し、会場の子供達も岡田さんのお話に聞き入っていました。また、エコ・ギャラリー特製「1人1日1kg」CO₂削減チャレンジ宣言カード(*)のデモンストレーションも行いました。

*エコ・ギャラリー特製「1人1日1kg」CO₂削減チャレンジ宣言とは

チーム・マイナス6%では、地球温暖化防止のため、「めざせ! 1人、1日、1kg CO₂削減チャレンジ宣言」と題した一人一人に具体的な地球温暖化防止行動の実践を呼びかけるキャンペーンを展開しています。

今回、「エコ・ギャラリー」においても、来場者に対してキャンペーンを展開しており、宣言を行った方を対象に、アーティストのGackt氏の愛犬「エネル」をモチーフにしたキャラクターが描かれた特製チャレンジ宣言カードを配布することとしています。



▲環境紙芝居

エコ・スポーツ雪合戦 in エコ・ギャラリー

昭和新山国際雪合戦実行委員会との共催により、「エコ・スポーツ雪合戦 in エコ・ギャラリー」を実施しました。雪については、環境省の「洞爺湖地域温暖化対策まちづくり事業」で整備したJAとうや湖の雪蔵に保管していた本物の雪を使用しました。

地球温暖化が進むと子供達が慣れ親しんだ雪合戦もできなくなるおそれがあります。雪合戦の開始に先立った始球式では、真っ赤にあつくなった地球の的に向かって、環境副大臣とミス日本ネイチャーが雪玉をぶつけ、地球温暖化に立ち向かう姿勢を示しました。



▲雪合戦の様子

「美しい日本の自然」写真展



▲「美しい日本の自然」写真パネル

日本自然科学写真協会(SSP)の協力により作成した「美しい日本の自然」写真パネル60点が、エコ・ギャラリーとビジターセンターで展示されました。日本を代表する国立公園の壮大な景観や、穏やかな里山の風景、躍動感あふれる動植物の写真に訪れた方々が見入っていました。エコ・ギャラリーでは、今後も関係機関等との共催による写真展や企画イベントなど、多彩な行事を実施していきます。

詳しくは
コチラ

エコ・ギャラリーウェブサイト

(<http://www.toyako-ecogallery.jp/event03.html>)

検索はこちら

洞爺湖エコ

検索



「エコ・ギャラリー」施設概要

21世紀環境立国戦略の3本柱である

低炭素化社会 循環型社会

自然共生型社会の実現に向け、

様々な環境問題に関する

学習展示を実施しています。



▲3R
(リデュース、リユース、
リサイクルの取組等)



▲美しい日本の自然
(国立公園、北海道の自然等)



▲生物多様性
(絶滅危惧種、里地山、外来生物、
生物多様性国家戦略等)



展示用テント等の環境配慮



▼展示物は、収納、移動の容易な段ボール組立てユニットによるものとし、展示期間終了後も、他のビジターセンターや各種イベント等で再利用していく予定です。



▲仮設テントのテント地はバイオマス膜材を用いおり、この原料であるケナフは育成時に二酸化炭素を吸収しているほか、他のイベントにも再利用(リユース)でき、最終的には紙としてリサイクルできるなど、環境にやさしい展示施設づくりを行いました。



▼設置しているトイレはおが屑により尿尿を分解処理する「バイオトイレ」を採用しています。



▲電力は、敷地内のソーラーパネル太陽光発電施設から完全に供給されています。

上記の常設展示のほか、周辺の自然や温暖化防止対策のポイントなどの紹介、北海道産の植物を用いた壁面緑化技術の紹介、各種共催イベントなどの企画展示を計画しています。